

令和7年度 警備業安全衛生大会 開催



とき:令和7年7月28日(月)
ところ:ピュアリティまきび 孔雀の間

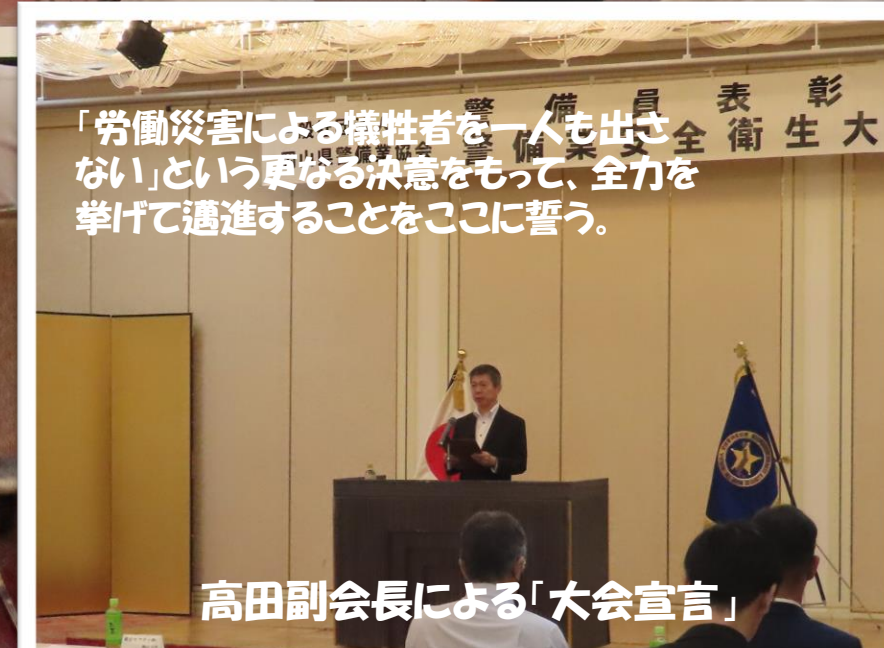


演題:普通救命講習について

講師:神崎青年部会長



大谷副会長による「開会の挨拶」



「労働災害による犠牲者を一人も出さない」という更なる決意をもって、全力を挙げて邁進することをここに誓う。

高田副会長による「大会宣言」

大会宣言

令和7年7月28日(月)、ピュアリティまきびにおいて、令和7年度岡山県警備業安全衛生大会を開催しました。

大会は、大谷副会長の開会挨拶に続き、神崎青年部会長（㈱ニタカ警備代表取締役）により、青年部会が開催する「普通救命講習」について講演を行っていただきました。

講演終了後、高田副会長により大会宣言案が発表され、出席の皆様のご賛同により左記「大会宣言」が採択されました。

我々警備業界における労働災害は、未だに、死亡事故や重篤事故が後を絶たず、極めて憂慮すべき状況にある。

近年、多発する豪雨や地震などの災害発生時、また災害級の猛暑の中においても、警備員は、社会公共の安全と安心に寄与するため、危険と背中合わせとなる過酷な業務に従事し、職務を全うしている。

また、優位的地位を乱用して個人の尊厳を傷つけるなどのカスタマーハラスメントなどにより、担当業務への不安やストレスを感じ、悩みを抱えながら業務に従事している従業員も少なくない。

このような状況を打破し、「労働災害ゼロ」を実現するためには、業務の効率化と安全性の向上を図ると共に、経営トップ自らが、率先して現場の声を聞き連携を強化しながら、惜しみない努力を重ねていかなければならない。

警備業を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にある。

しかし、我々は、人々の暮らしと社会の安全を支える重要な役割を担っているという誇りと使命感を胸に、労働災害による犠牲者を一人も出さないという更なる決意をもって、誰もが安心して働くことができる安全で明るい職場づくりに向けて、全力を挙げて邁進することをここに誓う。

以上 宣言する。

令和7年7月28日

令和7年度 岡山県警備業安全衛生大会

一般社団法人 岡山県警備業協会
副会長 高田 吉行